

上ノ国王国倶楽部が1月新春例会を開催！



1月24日(土)、昨年9月に発足した上ノ国町の応援団『上ノ国王国倶楽部』が、新年会を兼ねた初めての例会を札幌市内のホテルで開催し、会員43名が参加しました。

上ノ国ワインでの乾杯から和やかにスタートし、今が旬の海老料理（上ノ国産）が提供されたほか、4種海老セットや初採れアスパラガスの限定予約販売も行われ、会場は終始にぎわいました。

また、4月に上ノ国町への旅行を企画していることも報告され、参加者からは「楽しみですですね！」といった声も聞かれました。

子どもから高齢者まで楽しむ『餅つき大会』



1月25日(日)、北村コミュニティセンターにて北村町内会主催の第2回餅つき大会が開催されました。かつて行われていた子ども会の餅つきを昨年復活させ、今回は2回目の開催となりました。

会場には約40名の参加者が集まり「僕もやりたい！私もやりたい！」と子どもたちが臼の前に行列を作り、大人の方に教わりながら元気よく餅つきに挑戦。出来上がった餅を「やわらかい！おいしい！」と笑顔で味わい、世代を超えたふれあいが広がる、心温まるひとときとなりました。

泣いてもがんばった！『豆まきの集い』



2月3日(火)、上ノ国保育所で『豆まきの集い』が行われました。子どもたちは保護者の方と協力してオニのお面や豆入れを準備してきました。

まず、先生から豆まきの由来を聞き、教室や玄関などに向かって元気いっぱい豆まきを行いました。その後、歌や踊りで会場はにぎやかな雰囲気に包まれました。

そこへ、突然オニが現れ、泣いてしまう子もいましたが、友だちや先生に励まされながら勇気を出して豆を投げつけました。

元気な声と笑顔あふれる節分となりました。